



令和3年度 第2号 令和3年5月10日

鶴 星

阿久根市立鶴川内中学校

校 訓

スクールコンセプト

ともに夢と希望を育む鶴川内中

協 自 自
調 律 主

一 校 一 風

育てよう花と心と大きな夢を

校長室の窓から 「人が集う」ということ

校長 中山 武広

本年度のPTA総会は、書面開催ではなく、保護者の方々が一堂に集う形で開催されました。体育館の中に、本校職員を含む全PTA会員が居並ぶ光景は2年ぶりです。その光景に、私は、何か気持ちが明るくなったように感じました。その気持ちを強いて説明すれば、安心感や安堵感であり、連帯感でもあり、高揚感や期待感のようなものです。校長挨拶の際、手元の原稿になかった、「PTA総会がこのように一堂に集まって開催できたことをうれしく思います」と一言を付け加えたのはこの気持ちからです。

昨年度は、PTA総会を含め学校内外の諸会合の多くが、書面開催もしくは完全中止となりました。その状況下、会合が開かれなかったことでの大きな支障は特になかったため、「会合がなくても何とかなるものだ」とたかをくくっていたものです。しかし、それは浅はかな錯覚で、「人が集う」ということ自体に重要な意味があるのだと、このたびのPTA総会に臨席して改めて実感しました。また、総会終了後に、昨年度及び本年度の転入職員のPTA歓迎式をしていただきましたが、人が集えばこのような工夫もできるのだとありがたく思うことでした。

☆ ☆ ☆ ☆ ☆

生徒総会も4月期の通常開催は2年ぶりでしたが、生徒たちが一堂に会し活発に協議する様子に、PTA総会と同様、人が集うことによって醸し出される安心感・連帯感・期待感等を感じました。生徒会活動もいいスタートができたように思います。なお、協議の中で提示された「令和3年度生徒会目標」は、生徒会一同の熱い思いが伝わってくるもので、大変に感銘を受けました。以下、紹介いたします。

【令和3年度】生徒会目標：「鶴中維新 ～For One Dream～」

維新とは、ものごとを新しく変えること。

これまでの伝統を引継ながらも、自分たち自身の色を、出していきたい。

これまでの活動に、自分たちらしい、何かを足していきたい。

夢や希望に向かって、一緒に成長できる仲間でありたい。

新しい鶴中の始まりとなる一年になるよう、共に頑張りましょう。

☆ ☆ ☆ ☆ ☆

新年度の開始にあたり、PTA総会も生徒総会も、人が集う形で実施することができました。集わなければ何もかもが遠くなっていくような感覚もあり、今年度は、学校内外、他の諸行事・諸会合も人が集う形で実施できればと願います。全国的に急激な感染拡大の兆候があり、県内の状況も懸念されますが、1日でも早く、集いたいときに集える状況になることを期し、感染拡大防止策の徹底に努めてまいります。

主な行事予定

月	日	曜	5月～6月前半の主な行事
5	8	土	地域ボランティア活動
	13	木	地区陸上大会
	14	金	スクールカウンセラー(SC)来校 部活動写真撮影
	16	日	PTA ロードミラー清掃活動
	19	水	第1回学校運営協議会 教育相談(～20)
	25	火	健康教室・学校保健委員会
	26	水	チャレンジデー 2021 in あくね
6	27	木	全国学力学習状況調査(3年)
	1	火	安全点検日
	2	水	前期設営コンクール
	4	金	高校説明会
	7	月	PTA 役員会
	8	火	地区総体推戴式、眼科検診
	10	木	教育委員訪問、小中連絡会
	15	火	地区総体(～16日)
22	火	期末テスト(～24日)	
25	金	授業参観・学級PTA	

スクールカウンセラー(SC)の紹介
本年度は、石田愛先生です。昨年度まで阿久根市内の小学校が担当でした。今年度は、5/14(午後)、9/17(午後)、11/12(午前)、1/14(午後)の来校予定です。全員SCを行いつつ、相談希望の保護者は、担任の先生まで所定の用紙を提出ください。

努力目標

落ち着いた学校生活の環境づくりに努めよう。

一事徹底

余裕をもって安全な登校を目指そう。

PTA総会・防災訓練



4月23日 引渡し訓練を行いました。
あわせて、第1回学級PTAも行いました。

新塘征一前PTA会長から青木緋紗子PTA会長に引き継がれ、PTA総会が開かれました。今年度も全員で協力してPTA行事を盛り上げていくことを確認しました。

5月16日(日)にロードミラー清掃活動が計画されています。御協力よろしくお願い致します。学級PTAの間、生徒は、地震や津波時の避難について防災教室を行い、引渡し訓練では、お陰さまでスムーズな引渡しができました。引渡しカードは常に携帯しておくように重ねてお願いいたします。

★外見は一番外側の中身 姿こそ心

我々はいろいろな商品を買います。そのパッケージや広告などのデザインを考える職業をアートディレクターといいます。その第一人者、佐藤可士和さんの信念が“外見は一番外側の中身”です。中身が見えないからこそ、どうしたら相手に理解してもらえるか。外見を見ただけでそのものの本質や中身が想像できなければダメ。この商品は中身が素晴らしいからパッケージ(外側)はどうでもいい…。そんな商品は誰からも手にとってもらえません。中身が素晴らしいものならば、その素晴らしさが外見に出てこそ理解されます。

さて、日常生活の中で、私たちは人や物を「見た目」で判断します。警察の制服を着ていればデパートの店員とは思わないし、結婚式にジャージやGパンで参加する人がいたらその人のことをどう思うか…。逆に、自分を隠すために服を着飾ったりする人もいるかもしれない。中身のことをほったらかして、外見ばかり気にしている人ももちろんいます。だから、人間は外見で決まるものではありません。しかし、人間は外見ににじみ出るものです。『身なりを整える』ということは、いずれにせよ大事なことです。つまり、心や中身がささっている時にこそ外見を整える。外見が整えば、心が清らかになる。また、心が澄んでくれば、自然と外見は整うでしょう。

また、“姿こそ心”これは、詩人、岡田哲也さんが新聞の中で書いていた言葉。岡田さんが「人は外見だけじゃない」と言ったことに対して、ある老婦人が「姿こそ心ですよ。心だって伝わってこそ“心”なんですから」とおっしゃったそうです。姿こそ心…この“姿”とは外見だけではなく、行動も含まれているということ。同じような言葉に“姿勢”というものがあります。

これは「姿の勢い」と書きます。姿勢でその人の気持ちが前向きか後ろ向きか分かることがあります。そして、後ろ姿からその人の「オーラ」を感じることがあります。同じ制服や体育服を着ていて、それでも輝いている瞬間が君にあるはず。それこそ、あなたの個性かもしれません。

「一隅を照らす」人であってほしいし、この言葉の本質をものにできる中学生であってほしいです。それが毎日の学校で“姿”としてあれば、きっとかけがえのない宝物になるはず。です。

見通し、振り返り、つなぐ

生活の記録、スコラ手帳の活用を進め、自律した学びにし、自己管理能力を高めましょう。

生徒総会



4月28日 令和3年度 生徒会目標
鶴中維新～For One Dream～

維新とは、物事を新しく変えることです。これまでの伝統を引継ぎつつ、自分たちの色を出していきたい。そして、夢や希望に向かって一緒に成長できる仲間でありたいという思いが込められています。生徒総会では、活発な意見が飛び交いました。一人一人の生徒が主役になる学校を目指します。

その他の取組

交通安全教室、全員ワケ-ツヨク、生徒集会、全体がI-ツテ-ツヨク、ICT活用。



安全・安心が学校の基盤であり、よりよい人間関係づくりや、生活をより充実するために、4月から5月にたくさんの取組が行われています。

